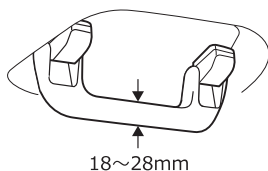
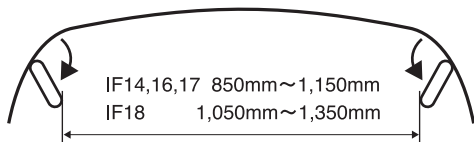


## IF62グリップアダプターの取付可能条件

- アシストグリップが可動式で、グリップ部の太さが直径18～28mmであること



- アシストグリップを一番倒した時の左右間隔を測定し、適用範囲であること



※車種別適合表、もしくはWebの適合情報で適合機種があり、かつアシストグリップが可動式であれば、その機種が取付可能です。  
但し、IF1およびIF9は取付けできません。

必ず、下記の「詳細取付条件」を併せてご確認ください。

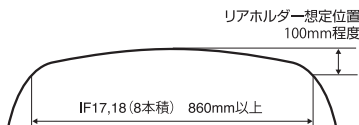
## IF62グリップアダプター詳細取付条件

**IF17,IF18は車幅が狭いと取付できない場合があります**

車幅が狭いとIF17,IF18のホルダーフレーム(8～10本積)が収まらない場合があります。

リアホルダー想定位置の天井幅が、860mm以上あれば取付け可能です。

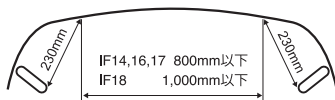
※標準取付方法でIF17またはIF18が適合していれば取付けできます。



### 天井が高い車種の場合

天井が高いとフレームを押し当てられず、取付け状態がやや不安定になるため、取付けはできますが、最大積載重量が7kgではなく5kgまでになります。事前に確認するにはアシストグリップを倒して、グリップ上面から230mmの位置の左右の間隔を測定します。

下図の機種の指定寸法範囲内ならフレームを天井に押し当てられます。



### 天井付近にエアコンダクト等の出っ張りがある場合

ロッドホルダーを設置する部分(1240mm×275mm)の範囲に純正アクセサリーやエアコンダクトなどの出っ張り等があると取付けできません。但し縦方向に840mmのスペースがあればIF60ショートフレーム(別売)に交換することで取付が可能になります。

